

「5G通信技術展」 「ローカル5G／IoT活用展」開催へ 通信業界・ CATV業界必見の 大規模展示とセミナー

「第5回 5G 通信技術展」「第1回 ローカル5G／IoT活用展」が6月29日(水)～7月1日(金)に東京ビッグサイトで開催される。どちらも大規模展示会「第6回 通信・放送 Week」(主催:RX Japan)として同時開催される5つの専門展の一部(その他は「第6回 映像伝送 EXPO (VCOM)」「第22回 光通信技術展 -FOE-」「第5回 4K・8K 映像技術展」)。今回の「通信・放送 Week」は出展スペースが昨年比で約30%拡大し、5展で合計140社が出展する。5GとIoTの分野は、昨年までは「5G／IoT 通信展」という一つの展示会で開催していたが、今回は通信インフラ・技術に特化した「第5回 5G 通信技術展」と、サービスやソリューションに特化した「第1回 ローカル5G／IoT活用展」に分け、出展者と来場者のマッチングを改善。より活用しやすい展示会に生まれ変わった。
(取材・文:渡辺 元・本誌編集長)

展示会は主要企業を網羅

「5G 通信技術展」は基地局設備や通信システム、通信デバイスなどを展示するが、今回拡充したのが5G関連の材料展示だ。機能材料は日本が非常に強い分野。出展企業として、AGC、旭化成、住友化学、JX 金属、三井金属鉱業、日本ゼオン、大日本印刷といった有力企業が出揃う。電子デバイスに関しても、最有力企業の村田製作所が出展する。ローカル5Gのサービスを提供するケーブルテレビ事業者にとっても材料の動向は重要だ。「新しい機能材料によって、今後の5Gインフラ、アプリケーション、サービスが



RX Japan 株式会社
執行役員 事務局長
土屋勝利氏

どう変化するか、大きな発見があると思います」(RX Japan

株式会社 執行役員 事務局長 土屋勝利氏)。

「ローカル5G／IoT活用展」はほかに例が少ないローカル5GとIoTの専門展だ。大容量や低遅延のローカル5Gだけでなく、ローパワーのLPWAなどもIoTの無線技術として展示される。対応の無線技術とIoTサービスを網羅している。NECグループは大規模なブースで出展し、ローカル5Gなどさまざまな無線、IoTサービスを展示。京セラ、ノキアソリューションズ&ネットワークス、エイビット、ZETAアライアンスなどが、ローカル5GやIoTの展示やデモを行う。

全キャリアの技術トップが講演

展示だけでなくセミナーも充実している。「ローカル5G／IoT活用展」の関連セミナーではNEC、富士通といった基地局メーカーが、「5G 通信技術展」の関連セミナーでは村田製作所、住友電工デバイス・イノベーション、OKIサーキットテクノロジーといった上流のデバイスメーカーが講演する。

さらに、特別企画として「6Gセミナー」を今回初めて開催する。基調講演には総務省国際戦略局長が登壇。「今後、日本は6Gで世界をリードしていく」といったビジョンが示される見込みだ。ほかにも、NECの河村厚男 執行役員常務や、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルの全キャリアの技術部門トップ、ノキアやエリクソンといった海外メーカーも講演する。「キャリア各社が考えている6Gにどのような違いがあるのか、同じタイミングで聞くことができる機会はなかなかありません。海外のトップメーカーの考えも俯瞰できます。次の6Gビジネスで日本が勝っていくためにも、通信業界の方はぜひ聴講していただくことをお勧めします」(土屋氏)。